

学 校 長 挨 拶



校長の 栗原 英樹（くりはら ひでき）で
ございます。本校2年目となります。
どうぞよろしくお願ひいたします。

今年度のせらひがし小学校は、新入生21名を迎え、全校児童132名でスタートしました。

本校は、平成23年4月 宇津戸小学校 中央小学校 伊尾小学校 東小学校の4つの学校が統合して開校した学校です。

世羅町の東部に位置し、豊かな自然に恵まれた教育環境の中にあります。ギフチョウやダルマガエルが生息し、また、スズランの自生地もあり、生物や植物の宝庫でもあります。

さらには、神祇等の伝統芸能の継承も行われ、史跡や古くからの建造物も多く、歴史とロマンを秘めた地域でもあります。特に、宇津戸地区に伝わる「神祇」は、広島県世羅町無形文化財に指定されており、本校の6年生が総合的な学習の時間に「伝えよう せらひがしの宝」として、地域の方々の指導を仰ぎながら、踊りや舞を継承しています。

このように、保護者の皆様、地域の皆様をはじめとする関係者の皆様のご支援・ご協力を得ながら、地域の宝となるべき人材を育成したいと考えています。

そのために、校訓『挑戦と創造』のもと、学校教育目標「未来を拓き、たくましく生きる子どもの育成」を掲げ、「夢や志を持ち、自ら挑戦する子ども」を育ててまいります。世羅の地に根付く質の高い文化をなかだちとして、違いを認め合い、自分を発見し、鍛え合いながら、よりよい生き方を見つけていく教育活動を展開してまいります。

今年度はさらに、広島県教育委員会「探究的な学習の在り方に関する研究推進地域事業」中学校区指定校としての「PBL（プロジェクト型学習）研究活動」推進、また世羅町におけるコミュニティスクールのスタート校として「地域と共にある学校づくり」を目指していきます。

これまでに引き続き、本校教育の推進にご支援、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和3年 4月